

平成 29 年 京都府公立大学法人理事長年頭あいさつ

皆さん、新年明けましておめでとうございます。教職員の皆さんにおかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、昨年 4 月に理事長に就任後、初めての新年を迎えることになりました。平素から大学運営に御尽力いただいております医科大学並びに府立大学の教職員の皆様に心からお礼を申し上げます。また、年末年始の間も病院現場などで日夜勤務に携わっていただいた関係部局の皆様方にも改めて感謝を申し上げます。

今年の干支は、「丁酉（ひのととり）」です。ものの本によりますと、丁というのは火を表し植物が成長して安定した状態にあること、また酉というのは果実が成熟したことを意味しており、どちらも植物が育って果実が実っている様子であるということになります。ですので、今年は着実に努力を重ねていけば、何か大きな成果を挙げることができる年になるのではないかと期待いたしたいと存じます。

今年は、公立大学法人が発足して 10 年目という記念すべき年であります。また第 2 期中期計画の後半に入る年でもあります。私も、理事長として、両大学が府民から親しまれ、地域や社会の役に立つ開かれた未来志向の大学として発展できるよう努めてゆきたいと思っております。

昨年の公立大学法人を振り返りますと、両大学で教育・研究、さらには医療の展開が為され、多くの学生が学び、卒業生を社会に送り出したことは言うまでもありませんが、特に印象に残った出来事としては、まず、第一は天皇皇后両陛下の医科大学への行幸啓であります。さらには、京都銀行と大学法人の包括連携協定の締結、医科大学とローム株式会社によるホウ素中性子治療施設に係る寄付の協定締結、また、府立大学の和食文化学科設置に向けた取り組みの推進、それから京都学・歴彩館の先行オープンなどなど大きな動きがあった年であります。

さて、大学を取り巻く状況をみてみますと、言うまでもなく誠に厳しいものがあります。2018 年問題と言われている大学入学者数の減少問題は言うまでもありませんが、文部科学省主導で進められている大学改革の一つとして、教育課程編成・実施の方針、所謂カリキュラム・ポリシーなど 3 つのポリシーの策定を挙げることが出来ます。他にも、高大接続の改善、入学者選抜対策としてセンター試験の大幅な改善、グローバル人材の育成と大学の国際化、社会人の学び直し機会の充実、地域創生の核となる大学運営など、様々な大学改革が進められようとしております。経済的に困難な学生に対する支援の拡充も急務で

あると思っております。

一方、地元京都府の状況を見ますと、2020年オリンピックイヤーに向けた様々な文化施策の推進、文化庁の京都移転の正式決定や理化学研究所のけいはんな学研都市への一部機能移転が決定するなど、大学における教育研究環境にとって、明るい話題が多く出てきておりました。

公立大学法人におきましては、この度オープンしました京都学・歴彩館に本年4月に府立大学図書館及び医科大学図書館の一部が、また、9月には文学部が移転するという予定であります。また、4月には府立大学における地域貢献のための拠点センターを拡充開設する予定であると聞いております。

医科大学においては、現在建設中の永守記念ガン治療研究センターが11月頃には竣工予定でありますし、ホウ素中性子治療の研究開発もローム株式会社の協力のもとに着実に推進されております。このように先進的医療に取り組み、「世界トップレベルの医学を府民の医療へ」という医科大学の理念に向かって前進していることは大変喜ばしいことであります。

3大学教養教育共同化事業についても、科目や授業の拡充が検討されており、3大学の学生の交流が一層進むことを期待するものであり、是非、これを実現したいと思っております。

さらに、府立大学の和食文化学科の平成31年度開設に向けて様々な取り組みが進められておりますし、医科大学においては大学院看護保健学研究科博士後期課程の平成30年度開設に向けて着実な準備が進められており、さらにしっかりと進めたいと存じます。

私ども公立大学法人は、府民の税金で運営されている大学として、様々な分野で地域に貢献することが求められております。もとより、大学の使命は、教育、研究、その成果を生かした社会貢献であります。医科大学並びに府立大学は、地域社会や国際社会で活躍できる人材の育成、社会をリードする質の高い研究や高度な医療の提供を行っていかねばならないわけであり、このためには、一層の自己変革も進めなければならないと考えております。

このような使命を果たすため、理事長として、京都府をはじめ関係機関に対して、主張すべきことはしっかりと主張して、学生たちが学ぶ環境の充実や、教職員の皆さんの教育、研究、医療を推進するための環境整備に一層の努力をしてまいりたいと思っております。

これから暫くは、入学試験や卒業式など大学にとりまして忙しい時期でありますし、新たな学長選考も行われるなど一番大変な時期に当たりますが、本日お集まりの大学の幹部の皆さんにおかれましては、この一年が法人、大学の更なる発展に向けた年、実り豊かな年となりますよう、さらなる御尽力をお願い

いたします。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして素晴らしい、充実した年となりますよう心から祈念いたしまして、私の年頭の御挨拶とさせていただきます。

どうぞ、今年もよろしく願いいたします。